

遠征撮影再開！第一弾はイーストアイと花輪線

北上～新花巻（猿ヶ石川橋梁）



北森～平舘



「新型ウィルス」の影響で遠出がはばかれ、遠征撮影も自粛の4・5月を過ごしてきましたが、いわゆる緊急事態宣言も緩和されてきたので、少しずつテーマを絞った撮影に復帰する計画を実行しました。

ダイヤ情報の月刊誌も5月発行の6月号は休刊となり、ネットから得た情報をもとにして、手始めに29日に東北新幹線の検測車E926・イーストアイの撮影に出撃しました。

この日のポイントは花巻市内の猿ヶ石川橋梁、ここは遮音壁が途切れていて車両体全体が見える数少ないポイントです。

下り便の通過予測は9時20分、9時に現着すると珍しいことに先客があり、どうやら県道わきのスペースから若干見上げるように構えているようでした。私は少し藪を漕いで山の斜面に上がり、梢の隙間からほぼ目線の高さで狙います。

5分前にE5系はやぶさが通過したので練習できました。トンネルに入った音が聞こえる

ので心の準備ができ、本番も落ち着いて撮影できました。撮影の後先客の若者のところへいってみるとここからも車体が切れることなく撮影できそうだったので、次回の参考になりました。

続いては東北道を北上し、最近駅舎と役所の庁舎が合体して話題になっている八幡平市へ向かいました。花輪線の撮影も久しぶりです。本数が少ないので時間調整が必要で、松尾鉱山の資料館を見学した後、線路と並行して走る国道筋のコメリで駐車料金程度の買い物をしてレジ袋を助手席におきそのまま徒歩で道を横切り、田植えを終えたばかりの水田越しに岩手山をバックに入れた定番スポットから盛岡行の上り列車を狙います。ここでも同好の方がおり、挨拶をしてお互いに邪魔にならないポジションで通過を待ちました。

雲の影が岩手山に掛かりベストではなかったのですが、青空との共演が程よく、定時にやってきた列車を収めることができました。本来ならば朝の時間帯の斜めから光線が入る状態で撮影したいところですが、9時から12時半過ぎまでは列車がなく、トップライトの撮影となってしまいましたが今回はこれで良しとしました。

どんとはれ。